

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月10日更新

事務事業名		合志市情報化基本計画進行管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	内田 秀一郎
	施策	25	行政改革の推進			所属課	企画課	担当者名	緒田 友一
	基本事業	86	情報化の推進			所属班	情報企画班	(内線)	1263
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑨ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成20年5月策定の「合志市情報化基本計画」に基づく各種事業の進行管理を行う。平成23年度に第2期実施計画を策定、時代に即した計画の見直しを行なった。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・庁内ネットワーク推進委員会で各種事業の進行を確認する。
【主な予算費目】	
【意見や要望】	最近の情報化は、スマートフォンの普及など急激な変化が想定され、短期間での計画変更も考えなければならない。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
第2期実施計画(改訂版)に基づいた運用管理 庁内ネットワーク推進委員会 2回	第2期実施計画に基づいた運用管理
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:計画策定のための協議回数	回
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
情報化の対象となる事業	→ア:事業数 (単位) 本
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
計画を見直し、新たに進行管理を行なう。	→ア:改訂検討会の出席者のべ人数 (単位) 人
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
より多くの人員で検討することにより、時代に合った情報化の検討を行なう。 平成24年度は進行管理になるので、庁内ネットワーク推進委員会の中で、議論を行なう。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
①活動指標	ア	回	2	6	2	2	2	2	5	2
②対象指標	ア	本	79	81	81	81	82	82	82	82
③成果指標	ア	人	42	84	42	42	42	42	75	42
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円						295		
	(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	295	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	4	2	2	3	2
延べ業務時間	時間	300	750	30	300	30	30	1,500	30	
(B)人件費計	千円	1,236	3,028	121	1,221	121	121	6,057	121	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,236	3,028	121	1,221	121	121	6,352	121	

事務事業名	合志市情報化基本計画進行管理事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部（SEE）

\*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 庁内ネットワーク推進委員会で第2期実施計画の進行管理をとりまとめ、報告し目標を達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 庁内ネットワーク推進委員会にて、実施計画についての進行状況につき各課と議論を行い、計画を実施し、成果を挙げられるよう努める。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 急速に変化する情報化に対応するため、また、平成27年度には、合志市総合計画に沿った、実施計画を策定する必要があるため、庁内ネットワーク推進委員会または、検討部会にて議論を重ねる必要がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在事業費なしのため、削減の余地なし。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成24年度～26年度については、進行管理のため削減の余地あり。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 情報化基本計画については、全市民に対して、だれもが公平にサービスを受けてもらうために策定した計画となっているので、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 平成20年度計画策定時には、市民より策定委員を募集し、外部策定委員会の中で計画を策定しています。平成23年度に策定した第2期実施計画については、総合計画との整理ができていない部分を整理し、計画中の実施プログラムの進捗状況、今後の課題を追記し、整理しました。これは、簡易的な内部修正となるため、外部委員会の設置は省略しています。進行管理については、実施プログラムの進捗状況を確認、議論することに主眼を置きますので内部的に協議します。平成27年度には新たに計画を策定するため、外部委員会の中で協議し、策定していきます。以上により役割分担は適正であると判断します。

## 3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

庁内ネットワーク推進委員会や政策推進本部会議において議論した結果、時代にあった第2期実施計画が策定できたと判断する。しかし、今後も急速な情報化の変化が予測されることから、柔軟に対応する必要がある。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					